



公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：後藤 晶一 編集人：沼沢 和明

平成26年 第3回 定例会 代表質問

災害に強いまちづくりを目指せ!

公明党の川島まさひろ議員は、9月10日に行なわれた平成26年度第3回定例会で代表質問に立ち、「防災・減災力強化」、「わくわくプラザの拡充」、「羽田空港への連絡道路の早期実現」など12項目32テーマにわたり質問しました。ここでは主な項目を紹介します。



代表質問に立つ川島議員

地域特性に合わせた「防災・減災力」の強化を!

全国で台風被害や豪雨による災害が相次いでいます。広島市での土砂災害を受け、市における、避難勧告発表基準や手順の早期見直しを求めました。



また、市の地形的な特徴に基づき、各区の状況に合わせた避難訓練等の実施を要請しました。

総務局長は基準等の見直しについて「全国各地で激甚な豪雨災害が発生していることを踏まえ、できるだけ早期に見直しを進める」と答弁。地域特性に合わせた避難訓練については「今後は、地域に起こり得る災害を想定し、区や自主防災組織等と連携しながら、より実践的な避難訓練を検討する」と答えました。

「わくわくプラザ」の拡充急げ!

子育て世代の増加により、「わくわくプラザ」の拡充を求める保護者が多い。そこで、公明党川崎市議団は、子ども子育て新制度移行後も、これまで通りの利用と障がい児に対応した専門的ケア利用「放課後デイサービス事業」等の拡充を求めました。

こども本部長は、「放課後デイサービス事業は、現在24か所に増加し、引き続き事業の拡充に向け取り組む」と答弁。



わくわくプラザ事業については「新制度施行後も、引き続き全児童を対象として実施する」「障がい児の利用についても、安全な居場所と仲間づくりの場として、今後も安心して利用できる環境を整えてく」と明言しました。

「羽田空港への連絡道路」早期実現へ!

24時間国際拠点化する羽田空港。川崎市と空港を直結する連絡道路は、その効果を首都圏に波及させる上で大きな役割を持つ。



そこで公明党川崎市議団は7月3日、市長とともに国土交通大臣に連絡道路の早期実現を求める陳情を行いました。

その後、内閣総理大臣補佐官が座長を務める「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」で実現に向けた取り組みが確認されました。

市長に今後の取り組みを質したところ「早期整備に向け、積極的に取り組んでいきたい」と答弁しました。

市に予算要望書を提出!

公明党川崎市議団は、平成27年度予算編成に向けた予算要望書を10月29日、市に提出しました。様々な施策と諸団体からの要請など、重点要望11項目を含む444項目の実現に向けた取り組みを強く求めました。